

同志社大学

カウンセリングセンターだより 60

2021年7月

● カウンセリングセンターのご案内 ●

充実した学生生活を送るためには、心身ともに健康であることが大切です。本学では、京田辺・今出川両校地に「カウンセリングセンター」を設け、学業や将来の進路、対人関係や健康などについて、日常におけるさまざまな相談を、専門のカウンセラーがお聞きします。必要に応じて学内の他部署や学外の機関を紹介することもできます。もちろん個人の秘密は厳守されますので、安心して相談してください。

● 合理的配慮を希望する学生のみなさんへ ●

カウンセリングセンターでは、精神的な問題(発達障がい、高次脳機能障がいを含む)を抱えている学生の大学生活での困りごとと一緒に考え、サポートを行うコーディネーターが常駐しています。コーディネーターは相談者の希望に基づき、必要に応じて、スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室(SDA室)と連携し、在籍学部へ提出する合理的配慮*の申請書類の作成等の対応にあたります。配慮申請書類の作成後も継続的な相談を続けることで、日々のつまずきを丁寧に話し合い、一緒に対処法を考えて、特性や症状を抱えながらも学生生活への適応度を上げていくことを支援します。コーディネーターは時には、関係する教職員との話し合いも行います。

*大学における合理的配慮とは：障がいがある人が、他の人と同等に教育を受ける権利を確保するため、大学に何らかの支援を希望した際に、大学にとって負担が重すぎない範囲で対応すること

《精神・発達障がい学生の困りごとの例》

- ・履修登録の方法がわからない。
- ・スケジュール管理ができず、授業に遅刻したり課題を提出できなかったりする。
- ・オンライン形式の授業に参加しにくい。
- ・授業を聞く、理解する、板書するといったことを同時にするのが難しい。
- ・周囲の物音に過敏になり、試験に集中できない…等。

ほかにも様々な相談内容があります。

*合理的配慮申請には、医師による診断書が必要となります。

*相談は予約制です。電話でも結構ですので、まずご予約ください。

■ 2020年度カウンセリングセンター利用状況 ■

昨年度は、緊急事態宣言が発出されたことにより、4月14日～5月31日までカウンセラー、コーディネーターは週1回ないしは週2回のシフト制勤務とし、電話相談のみ実施しました。春学期はすべてオンライン授業となったことを受けて、相談件数が減少しました。その後は、大学の方針に沿って、対面・電話・Webと相談方法もハイブリッドで対応しました。

表1 2020年度校地別相談者数（実数および延数）

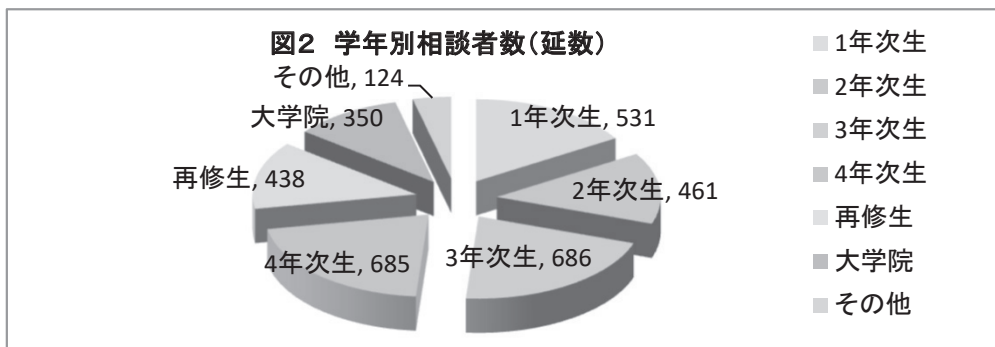
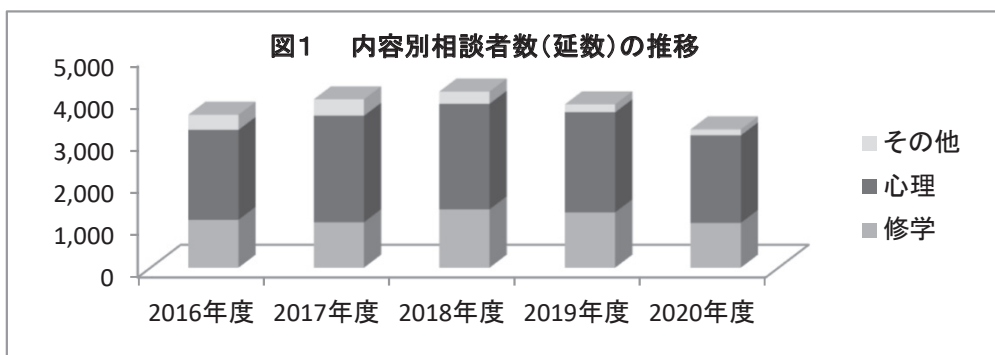
	実数			延数		
	今出川	京田辺	計	今出川	京田辺	計
	326	177	503	2,374	901	3,275
学 部	257	128	385	2,071	730	2,801
大学院	28	18	46	221	129	350
その他	41	31	72	82	42	124

*「その他」は、教職員及び父母の相談者数です。

表2 内容別相談者（延数）の推移

年度	修学	心理	その他	計
2016年度	1,133	2,131	358	3,622
2017年度	1,075	2,524	389	3,988
2018年度	1,380	2,503	289	4,172
2019年度	1,310	2,372	187	3,869
2020年度	1,060	2,075	140	3,275

校地別の相談者数は、表1をご覧ください。内容別では、表2・図1のとおり「心理」が相談の約63%を占めています。2013年に特別支援オフィスが開設されて以降、修学相談が増加していますが、2020年度は新型コロナウイルスの影響で初めて減少しました。なお、2021年4月にSDA室が開室されたことに伴い、2021年3月で特別支援オフィスは閉室しています。学年別では、図2のとおり、3年次生、4年次生が多くなっています。



同志社大学カウンセリングセンター

- 今出川校地 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
(寒梅館1階北側) TEL 075-251-3275
- 京田辺校地 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3
(知真館1号館1階南東角) TEL 0774-65-7415